

令和3年7月9日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証JASDAQ市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03-6225-2207)

Group Lease PCL「C(注意)サイン」解除に向けた計画及び進捗報告について

当社の連結子会社であり東南アジアでデジタルファイナンス事業を行っておりますGroup Lease PCL (以下、GL) が、「C(注意)サイン」解除に向けた計画及び進捗報告について、7月9日にプレスリリースを行なっております。

当社といたしましては、当該プレゼンテーションにおいて、複数の論点について明確に前進が認められていること、また情報開示の点で透明性が示されていると認識しております。今後ともGLに對してできる限りの協力を続けてまいります。

下記に日本語に翻訳しご紹介いたします。

(以下、GL社公表のリリースの翻訳)

Group Lease PCL(以下、当社またはGL)は2021年7月8日に公開プレゼンテーションを開催し、株主様、投資家様及びその他ステークホルダーの皆様に対して、タイ証券取引所による当社株式に対するC(注意)サイン掲示に関して説明を行いました。本件は、GLの監査法人が、2020年第3四半期(2020年9月30日時点)連結財務諸表に対して意見不表明を述べたことに起因します。当社の公開プレゼンテーションの概要は以下のとおりです。

公開プレゼンテーションにて問題改善に向けて前進していることを強調:

まず初めに、経営陣は投資家の皆様のプレゼンテーションへの出席に心から感謝の意を伝え、2020年度(2020年12月31日末時点)財務諸表の開示遅延及び2020年第3四半期財務諸表における監査法人の意見不表明の結果について投資家の皆様に深くお詫びいたしました。また、経営陣はこのような問題をできるだけ速やかに解決するために最善を尽くすことを約束いたしました。

当社は、できる限り早期に監査法人に意見を表明して頂けるように、当初、当社が提出できなかった監査法人からの要求事項について多くの情報の入手を進め、それらの情報を速やかに提供する

よう努めております。監査法人が懸念を抱く主な原因となった訴訟に関して、当社はシンガポール裁判所による訴訟結果に従い、既にほとんどの賠償金を支払っており、残りの金額についても間もなく支払う予定です。タイ、インドネシアを中心としたその他の訴訟については、監査法人に更に詳細な説明を行い、監査法人に納得頂いた上で、できる限り早期に意見を表明して頂けるように対応しております。以上の対応により、監査役が当社の状況をしっかり理解頂けると経営陣は確信しております。また、J Trust Asia Pte. Ltd. (以下、JTA) と当社との間で締結した第2回投資契約における当社の支払期限は2021年8月1日ではなくなったこと、また当社がその日に支払を行わない理由について説明いたしました。

公開プレゼンテーションでは質疑応答の機会が設けられ、すべての質問に対して経営陣が回答致しました。詳細については、当社のFacebookページに掲載されている以下のプレゼンテーションとビデオをご覧ください。

<https://grouplease.international/misc/PRSN/20210708-gl-presentation-en.pdf>

<https://www.facebook.com/GroupleaseTH/videos/506534727283530>

主な質問内容としては、今後の事業の方向性、訴訟の状況、開示したニュースの内容、次回の業績見通しなどです。経営陣は、これらの質問に対して慎重にお答えした上で、今後も引き続き通常通り事業の継続を行うことが可能であり、新型コロナウイルス感染症の克服により経済状況が改善されれば、我々は速やかに事業拡大を図る意思があることを明確にいたしました。

訴訟の状況に関しては下記をご参照ください。

<https://www.set.or.th/set/pdfnews.do?newsId=16203445961520&sequence=2021051203>

2020年度(2020年12月31日末時点)財務諸表については下記をご参照ください。

<https://www.set.or.th/set/pdfnews.do?newsId=16249238147640&sequence=2021072354>

以 上